



岡山大学  
OKAYAMA UNIV.

女性医師が活躍し地域に貢献する  
システム作りを目指して

-岡山発女性医師キャリア支援- (概要)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
地域医療人材育成講座

片岡 仁美

## 岡山大学病院女性医師キャリア支援

H19年文部科学省の医療人GPに採択され、同年9月からH21年度末まで「女性を生かすキャリア支援計画」として活動を展開。H20年度から開始したオーダーメイドの柔軟な勤務形態を特徴とするキャリア支援枠を介して42名（大学病院37名、地域医療機関5名）が復職した。この成果を受け、平成22-25年度地域医療再生計画に基づく岡山県からの委託事業として活動を継続、同年から「MUSCATプロジェクト」の名称とする。H26年8月現在でキャリア支援枠利用者は90名を越え、岡山大学病院の女性医師割合は活動開始前の18.4%から26.1%に上昇した。

### 取り組みの具体例

#### ① アンケートによる現状分析とニーズ調査

平成19,21年度に岡山大学医学部卒業生を中心に1,400名と対象としたアンケート調査を行い、現状分析とニーズ調査を行った。

#### ② オーダーメイドの柔軟な勤務体系（キャリア支援制度）の構築

平成20年度より大学病院において復職希望者の希望に応じ勤務日数と勤務時間が設定できるキャリア支援枠の運用を開始。定員は常勤医師換算で約20名分。大学内に「キャリアセンターMUSCAT」を設置、復職コーディネーター（女性医師2名、いずれも復職経験者）が復職希望者との定期的な面談（復帰前、復帰後3-6か月ごと）と職場（医局、地域医療機関）との調整を行う。

#### ③ 各種トレーニングコースの開催

シミュレーション教育を活用し、復帰前の急変時チームシミュレーション、各種スキルトレーニングを提供。ジェネラリストセミナー、ジェネラリストスキルトレーニングなど他分野から総合医を目指す医師のためのコースも開催。

#### ④ 病児保育ルームの開設

平成21年に国立大学病院法人として5番目に病児保育ルームを開設。

#### ⑤ 緩やかなネットワークの構築

女性医師のネットワーク（MUSCATの会）、サポータークラブ（誰でも参加可能）など緩やかなネットワークの構築によって知識と経験を伝える。メンター・メンティー交流会など世代を超えた交流も活発に行う。また、岡山県医師会、岡山県、岡山県病院協会、NPO岡山医師研修支援機構と連携した活動を行っている。出張ミーティングやトレーニングも開催。

#### ⑥ 女性外来の開設 平成22年に女性外来を開設。

#### ⑦ キャリア教育

学生のプロフェッショナリズム教育、キャリア教育に参画。



図1：全体概要図

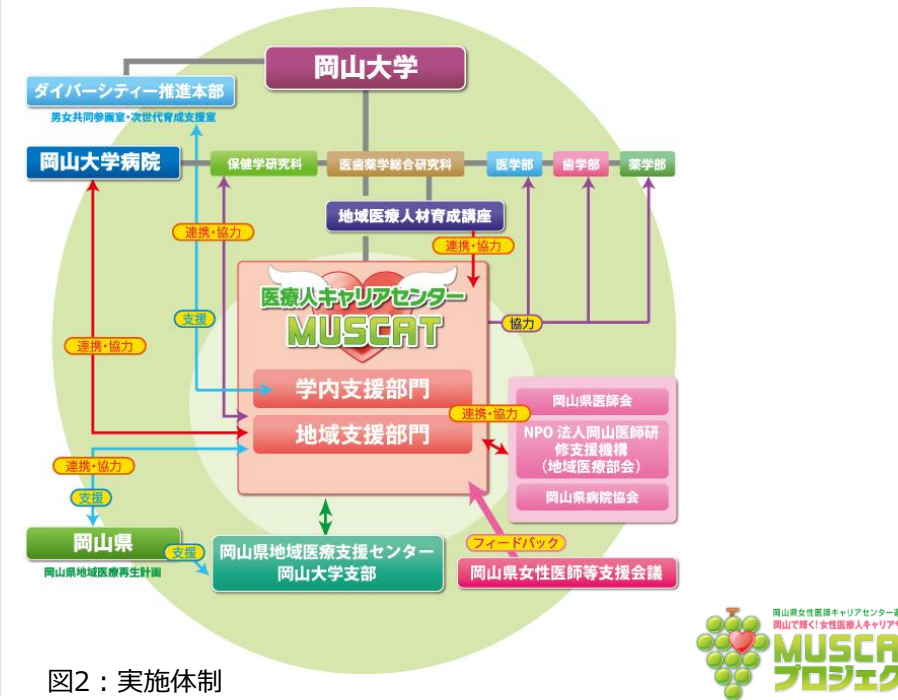


図2：実施体制

# 岡山大学卒業・入局の女性医師アンケート

## ①アンケートによる現状分析とニーズ調査

図3 離職経験の有無

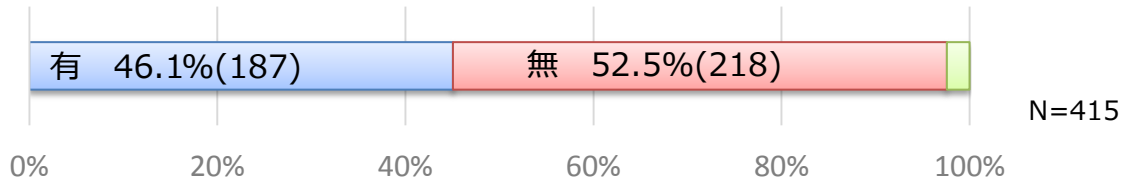


図4 離職の時期

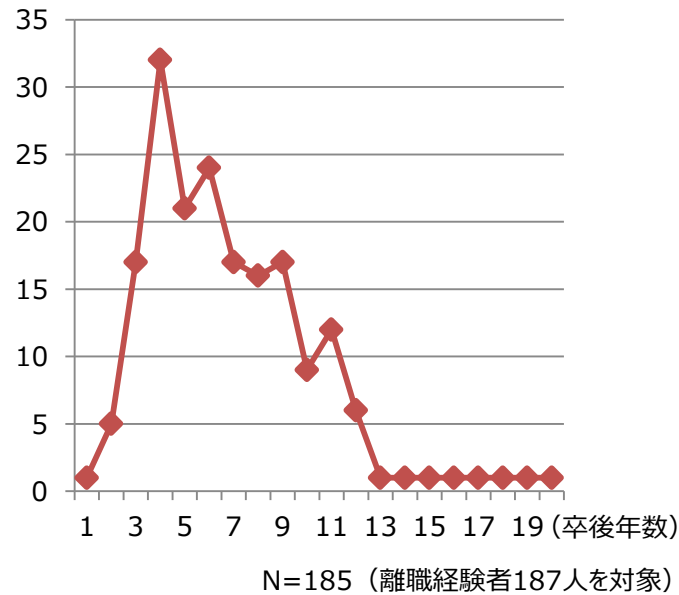
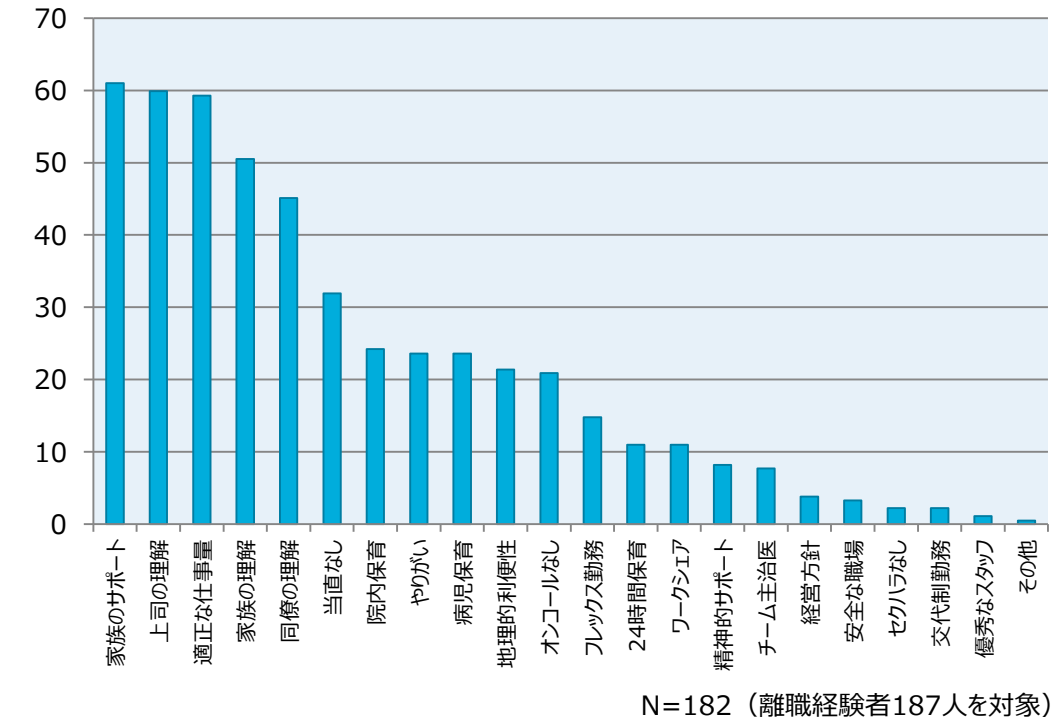


図5 復職の際必要なもの



\***離職**: 無給かつ復帰時期が未定で職を離れることと定義した。産前・産後休暇・育児休業など給与が発生し、復帰時期が決まっている休暇・休業は含まない。

\*女性医師の46.1%が離職を経験し、その時期は92%が卒後10年以内であった(図3,4)。一旦離職した女性医師の51%が1年以内に復職しており、離職したままの医師は3%(n=6)と少数である。しかし、復職時には約30%が常勤→非常勤となり、90%以上が不安を抱えながら復帰している。

\*復職の際に必要なものとして、家族のサポート、上司の理解などソフト面の要因を挙げた意見が目立った(図5)。

\*活動に求めるものとして67.4%が「復帰しやすい職場」を挙げ、次いで43.1%が病児保育施設の設立を挙げた。

# キャリア支援制度の構築

## ② オーダーメイドの柔軟な勤務体系（キャリア支援制度）の構築

「復帰しやすい職場」を目指し、平成20年度より柔軟な勤務体系を導入。当初は当直・オンコールの調整が可能、という勤務体制からスタートし、同年度途中よりオーダーメイドで勤務日数、勤務時間を設定できる勤務体系を確立。当初利用対象者は出産・育児を行う女性医師であったが、平成22年度より介護を利用理由に加え、男性医師も利用できる制度に変更した。平成24年度からは制度利用期間を子ども1名につき3年間に定め、一方で復職コーディネーターの積極的関与によるキャリア支援を強化した。

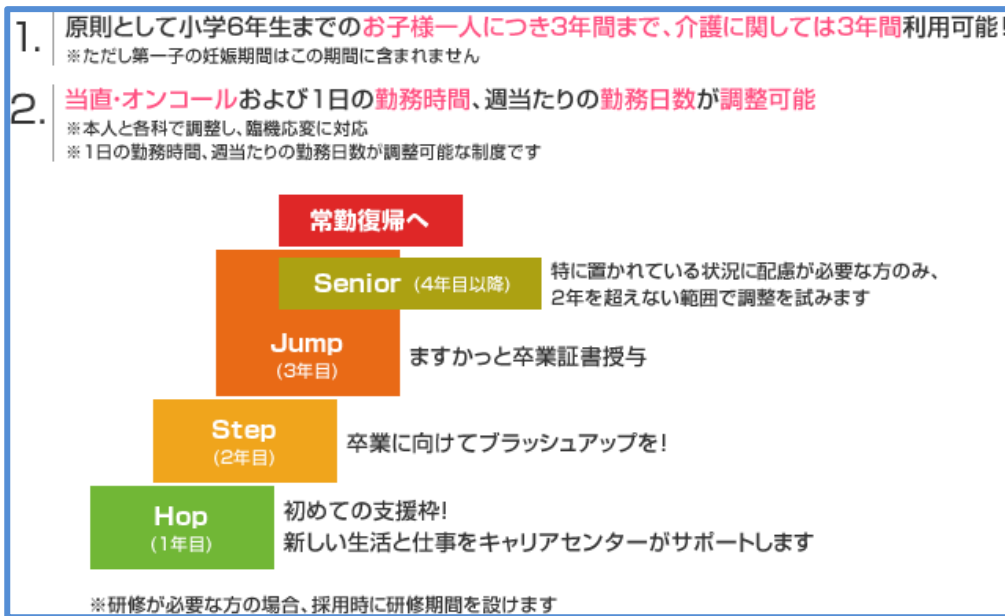


図6：キャリア支援制度

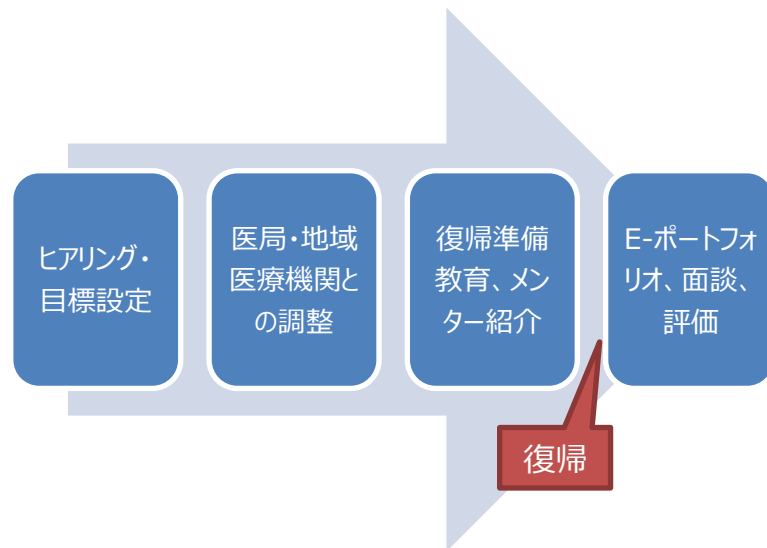


図7：復帰までのステップとコーディネーターのかかわり

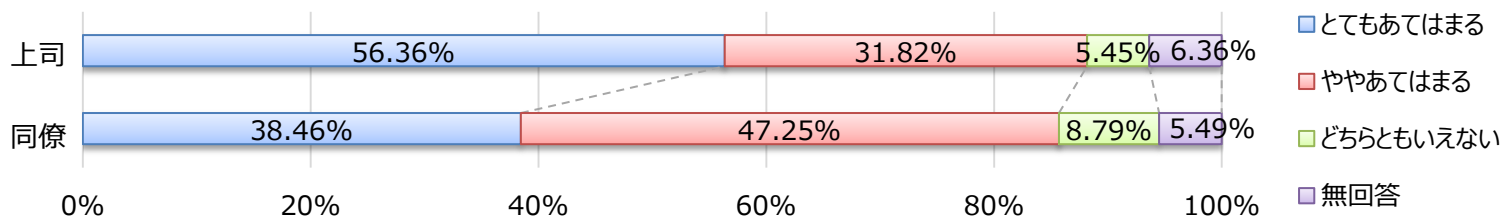


図8：キャリア支援制度は制度利用者にとって有用であるか

# その他の取り組み

## ③各種トレーニングコースの開催

シミュレーショントレーニング参加者：162名  
 各種講習会参加者：569名  
 各種講演会参加者：1,374名  
 (平成19-平成26年度)

### 出張シミュレーショントレーニング

シミュレーターを用いた救命処置法などを地域の医療機関に出向いて開催。その地域の医療者の方やスタッフなど地域を支える方々に多数ご参加頂いています。



図9：地域医療期間での出張シミュレーショントレーニング

## ④病児保育ルームの開設



図10：病児保育ルーム

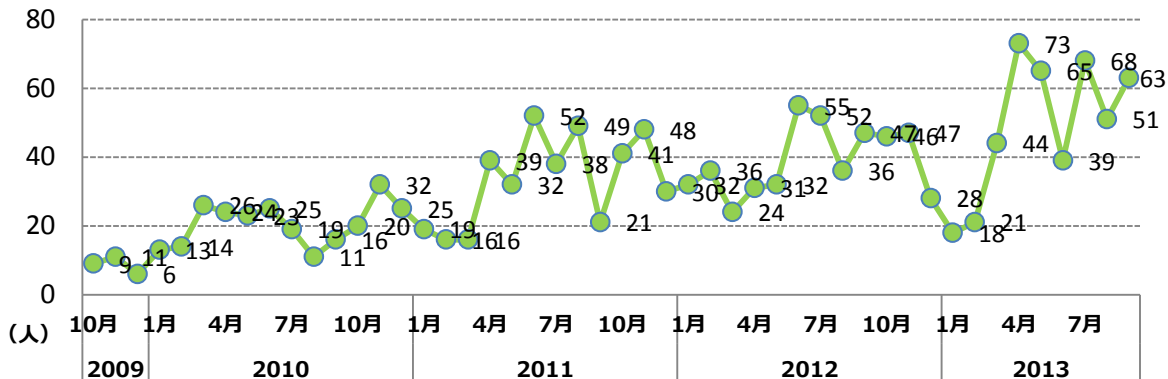


図11：病児保育ルーム利用実績

## ⑤緩やかなネットワークの構築

### MUSCATミーティング(学外開催編)

地域医療機関を会場に開催するMUSCATミーティング(学外開催編)では、その病院に勤務する医師や地域に縁のある医師からのメッセージとして開催。後輩医師はもちろん、医療スタッフや地域住民の方にもご参加頂き、医師の生活を理解してもらう相互交流の場としても役立っています。



図12：MUSCATミーティング

### MUSCAT 連携支援協力医療機関一覧

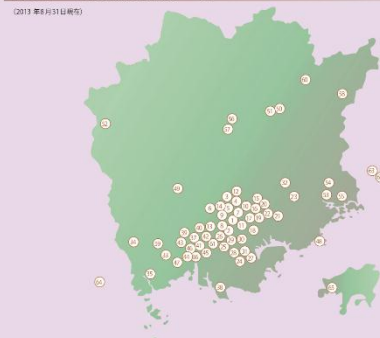


図13：協力医療機関

## 女性医師の人数と職位

平成20年度にキャリア支援枠が導入され、女性医師数は87名から170名に増加。増加が著しいのはキャリア支援枠利用者(0名→29名)。また、医師全体に占める割合は18.4%から26.1%に増加した。また、助教は10名から30名に増加、30名中キャリア支援枠修了者6名が含まれる。

図14.岡山大学病院における医師数・復帰支援制度利用者数の割合の推移

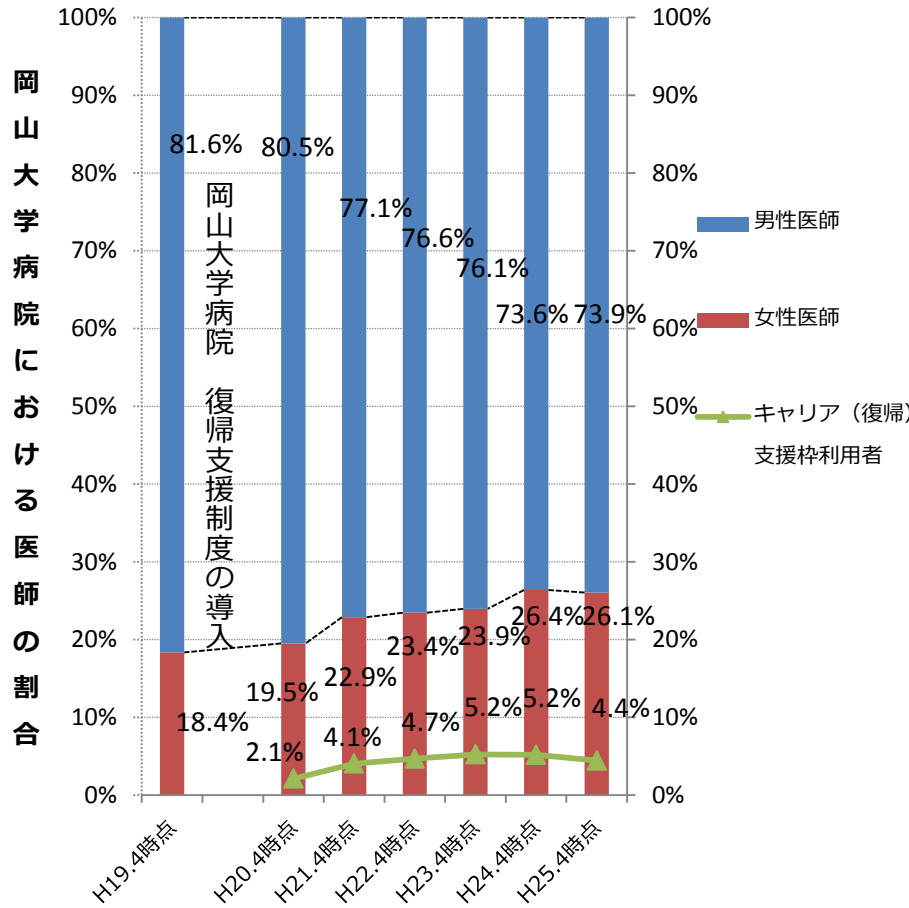


図15.岡山大学病院における女性医師の人数と職位の変化

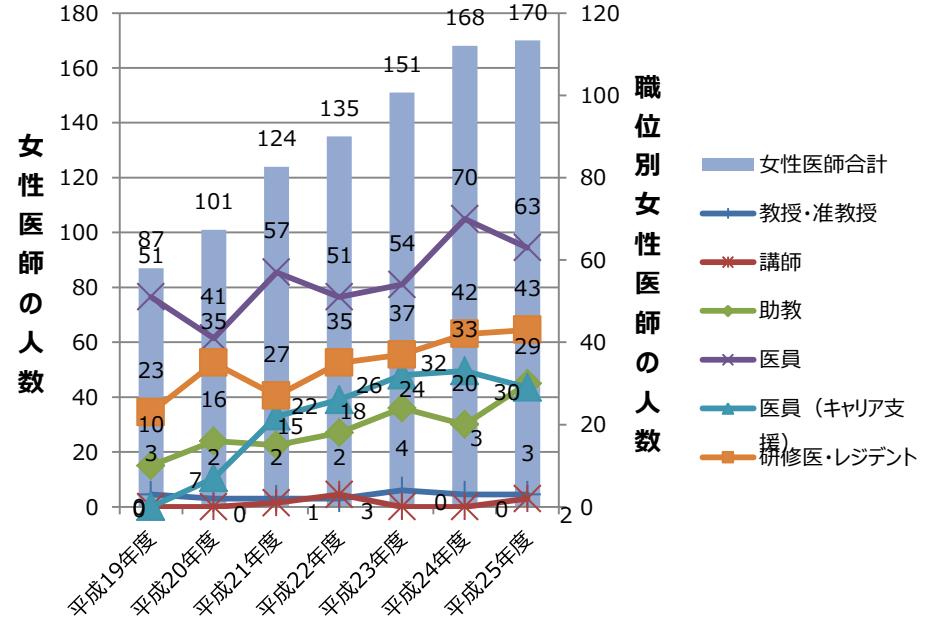


図16.支援枠利用後の勤務について(H25調べ) (n=48)

